

## 平成 29 年度佐久農村女性のつどいを開催しました

佐久農村女性団体連携会議と佐久農業改良普及センターの主催により、平成 30 年 1 月 18 日（木）に佐久合同庁舎講堂において、佐久地域で農業生産や地域づくりの担い手として活躍している農村女性が一堂に会し「平成 29 年度佐久農村女性のつどい」を開催しました。今回は「地域の新しい動きを学び、自分たちの活動に活かそう！」をテーマに、県外からの移住者や地域おこし協力隊の活動、農業女子の活動など新しい地域活動等の事例を学び、更なる魅力ある活動につなげることを目指し実施しました。

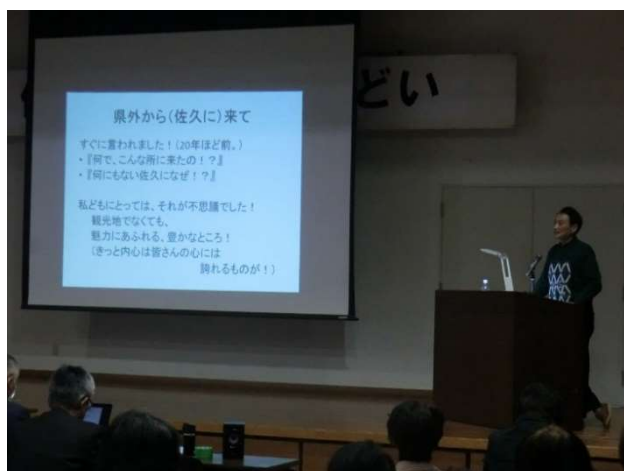


### オープニングステージ

(JA 佐久浅間女性会コーラスグループ「あさまハーモニー」)

オープニングステージとして JA 佐久浅間女性会コーラスグループ「あさまハーモニー」の美しい歌声を聞き、開会行事の後、午前中は県外出身者による佐久地域での活動として、佐久市志賀のジャム工房ル・コタージュ 依田守正さんが、どうして県外から移住し地域と関わりながらジャム工房を立ち上げたかを発表、続いて地域おこし協力隊の地域における活動として、佐久市臼田地区担当の加藤夕紀子さんが、臼田地区で「食」と「健康」を「キーワード」に地域の活性化につながる様々なことを企画し、自分ので

きることから実施することを「ミッション」に2年間活動してきたことを発表、御代田町担当の尾関充紗さんが、町の目指す「写真の町づくり」推進に関わる「ミッション」に取り組んで、町民参加の「フォトフェスティバル」開催に向けて企画を検討し、写真文化の普及を目指し写真教室等を企画、さらに町内イベントへ積極的に参画し写真や、動画で御代田町の良さをPRしていると発表いただきました。午後は、「好きな人」の音楽に合わせストレッチ体操で身体をほぐした後、佐久地域における女性活動として、佐久市生活改善グループ連絡協議会の堀籠直美さんが青年農業者クラブと連携した食農教育の取り組みを、また、川上村 マルシェ ママン 川上知美さんが子育て中のママが集まり、結婚前の自分たちのスキルを活かしながら「マルシェ川上」のおしゃれ化計画の実践や「魅力的な商品づくり」の実践している取り組みについて発表いただきました。



依田守正さん（佐久市 ジャム工房・コターージュ）



加藤夕紀子さん（佐久市地域おこし協力隊）



尾関充紗さん（御代田町地域おこし協力隊）



小林八代枝さん（音楽「好きになった人」に  
合わせてストレッチ体操指導）



堀籠直美さん（佐久市生活改善グループ連絡協議会）

川上知美さん（川上村 マルシェ ママン）

発表の後、参加者全員で意見交換を行い、県外出身者の視点から見ると昔から住んでいる人はなかなか気づかない佐久地域の農村の良さを再確認するとともに、地域社会を維持していくためには、女性が地域で裏方としてではなく、もっと意見が言える場に出ていくことや若手が行う活動を地域の皆さんが応援していくことの大切さを実感しました。

今回の佐久農村女性のつどいがきっかけとなり、発表者、参加者等がつながり、地域をさらに盛り立てていければと期待します。



**参加者全員による意見交換会**

(H30.2月掲載)